



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月15日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6616 URL https://www.torex.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部 部門長 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,170	7.8	693	29.7	526	1.4	388	33.5
2020年3月期第3四半期	15,929	△14.1	534	△67.8	518	△73.7	290	△73.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 294百万円 (0.0%) 2020年3月期第3四半期 294百万円 (△76.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	35.53	-
2020年3月期第3四半期	26.44	26.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	30,134	18,613	61.8	1,701.46
2020年3月期	27,846	18,671	67.1	1,712.30

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 18,613百万円 2020年3月期 18,671百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	20.00	-	20.00	40.00
2021年3月期	-	16.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	9.3	900	32.7	700	3.5	500	19.8	45.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	11,554,200株	2020年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	614,259株	2020年3月期	649,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	10,925,522株	2020年3月期3Q	11,000,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済及び日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大とその抑制に向けた経済活動規制などにより景気は大幅に減速していましたが、その影響は徐々に緩和されつつあります。しかしながら、全体として依然として厳しい状況にあり、今後の先行きも極めて不透明な状況となっております。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、自動車関連市場の好転が始まり、また、新しいライフスタイルへの変化に対する需要増により、回復が見られました。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、従業員の感染症対策としてテレワークや時差出勤などを徹底して講じつつ、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- 市場や顧客のニーズを製品開発に的確に反映し、より多くの製品を短期間で開発させるため、従来開発部門の中に設置していた企画部門を独立させ、製品企画の強化を推進してまいりました。
- 当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、差別化のできる高付加価値な汎用製品及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、より特化した特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めてまいりました。
- 生産部門では、生産技術と品質保証を1つの本部へと集約することで、コスト意識を高めながら品質保証体制を強化し、生産計画の効率化を進めるとともに、製造子会社との協力体制を深め、競争力のある製造コスト、品質力の向上、納期対応の実現を進めました。
- 各地域に密着した営業活動を推進するため、営業本部を国内営業と海外営業に分けて、迅速かつ柔軟な顧客対応や営業基盤の強化に努めるとともに、製品企画への顧客ニーズの反映に取り組みしました。
- 近年、様々な視点から注目される省エネ型社会を実現する有効な手段の一つであるパワーエレクトロニクスにおけるビジネスの拡大を目的とし、超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う、株式会社ノベルクリスタルテクノロジー（本社：埼玉県狭山市）と資本提携を行いました。
- 製品ポートフォリオを強化するため、相互ビジネスの拡大を視野に資本提携しているCirel Systems Pvt Ltd.と、同社の製品をワールドワイドで販売することを合意しました。
- 当社において、将来的な更なる事業発展を目指し、効率的なビジネスを支える基幹システムの入替えを実施しました。
- グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- 製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上のため、フェニテックセミコンダクター本社工場の第一工場への統合を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高171億70百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益6億93百万円（前年同期比29.7%増）、経常利益5億26百万円（前年同期比1.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億88百万円（前年同期比33.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当第3四半期連結累計期間における日本事業は、主に家電分野向けの売上が増加したことにより、売上高は124億72百万円（前年同期比16.6%増）、セグメント利益は5億31百万円（前年同期比23.1%増）となりました。

②アジア

当第3四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に医療機器分野向けの売上が増加しましたが、車載機器分野向けの売上が減少したことにより、売上高は38億43百万円（前年同期比10.9%減）、セグメント利益は1億34百万円（前年同期比38.0%増）となりました。

③欧州

当第3四半期連結累計期間における欧州事業は、主に医療機器分野向けの売上が増加しましたが、産業機器分野向けの売上が減少したことにより、売上高は4億80百万円（前年同期比5.0%減）、セグメント利益は24百万円（前年同期はセグメント利益1百万）となりました。

④北米

当第3四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器等の分野向けの売上が減少したことにより、売上高は3億73百万円（前年同期比9.3%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期はセグメント損失0百万）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は212億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億91百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が18億86百万円、たな卸資産が4億8百万円増加したことによるものであります。固定資産は88億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億4百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が2億3百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産が301億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億87百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は69億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは1年内返済予定の長期借入金が5億14百万円の増加に対し、その他のうち未払金が5億円、賞与引当金が2億42百万円減少したことによるものであります。固定負債は46億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億72百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が24億95百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計が115億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億45百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は186億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ57百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は61.8%（前連結会計年度末は67.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年2月12日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,281,215	11,168,080
受取手形及び売掛金	4,020,517	4,167,639
たな卸資産	5,006,813	5,415,630
その他	540,103	490,629
貸倒引当金	△2,983	△4,710
流動資産合計	18,845,666	21,237,269
固定資産		
有形固定資産	6,204,524	6,001,215
無形固定資産	801,474	955,833
投資その他の資産		
その他	2,020,976	1,964,713
貸倒引当金	△25,680	△24,730
投資その他の資産合計	1,995,296	1,939,982
固定資産合計	9,001,295	8,897,032
資産合計	27,846,962	30,134,301
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,065,830	1,078,316
短期借入金	2,901,627	2,901,555
1年内返済予定の長期借入金	605,036	1,120,000
未払法人税等	51,380	37,670
賞与引当金	355,975	113,115
その他	1,962,749	1,664,549
流動負債合計	6,942,598	6,915,207
固定負債		
長期借入金	1,142,500	3,637,500
退職給付に係る負債	656,153	644,222
株式給付引当金	53,546	37,635
その他	380,261	285,820
固定負債合計	2,232,461	4,605,178
負債合計	9,175,060	11,520,385
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,297,198	8,299,941
利益剰余金	8,576,276	8,570,631
自己株式	△788,207	△749,981
株主資本合計	19,053,202	19,088,526
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△145,538	△209,834
為替換算調整勘定	15,011	△26,410
退職給付に係る調整累計額	△250,774	△238,364
その他の包括利益累計額合計	△381,300	△474,609
純資産合計	18,671,901	18,613,916
負債純資産合計	27,846,962	30,134,301

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	15,929,956	17,170,536
売上原価	11,792,913	13,028,151
売上総利益	4,137,043	4,142,385
販売費及び一般管理費	3,602,106	3,448,551
営業利益	534,936	693,834
営業外収益		
受取利息及び配当金	23,542	17,426
ロイヤリティ収入	5,167	3,158
受取賃貸料	20,284	22,651
その他	13,096	25,940
営業外収益合計	62,092	69,177
営業外費用		
支払利息	18,994	32,314
為替差損	43,759	197,394
支払手数料	6,000	6,000
その他	9,534	1,068
営業外費用合計	78,288	236,777
経常利益	518,740	526,234
特別利益		
補助金収入	—	7,333
受取保険金	2,605	9,808
保険解約返戻金	2,988	—
特別利益合計	5,594	17,141
特別損失		
固定資産除売却損	2,520	17,012
保険解約損	—	11,736
災害による損失	—	7,297
損害補償損失	—	19,932
損害補償損失引当金繰入額	96,800	—
特別損失合計	99,320	55,979
税金等調整前四半期純利益	425,014	487,396
法人税等	134,259	99,108
四半期純利益	290,754	388,288
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△192	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,946	388,288

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	290,754	388,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,236	△64,296
為替換算調整勘定	△26,296	△41,422
退職給付に係る調整額	2,229	12,409
その他の包括利益合計	4,169	△93,309
四半期包括利益	294,923	294,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,332	294,979
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,408	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	10,698,313	4,314,131	505,817	411,694	15,929,956	—	15,929,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,620,703	279,307	22,177	25,917	4,948,106	△4,948,106	—
計	15,319,017	4,593,439	527,994	437,612	20,878,063	△4,948,106	15,929,956
セグメント利益又は損失 (△)	431,610	97,439	1,206	△953	529,302	5,634	534,936

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額5,634千円には、セグメント間取引消去5,634千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	11,660,390	2,704,619	901,501	663,445	15,929,956

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
外部顧客への売上高	12,472,535	3,843,760	480,685	373,554	17,170,536	—	17,170,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,122,132	295,718	18,775	29,543	4,466,170	△4,466,170	—
計	16,594,667	4,139,479	499,461	403,098	21,636,706	△4,466,170	17,170,536
セグメント利益	531,495	134,452	24,235	2,863	693,047	787	693,834

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額787千円には、セグメント間取引消去787千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	13,178,167	2,505,742	805,695	680,931	17,170,536